

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2002-3216(P2002-3216A)

【公開日】平成14年1月9日(2002.1.9)

【出願番号】特願2001-134908(P2001-134908)

【国際特許分類】

C 0 1 B 39/46 (2006.01)

B 0 1 J 29/74 (2006.01)

C 0 7 C 5/27 (2006.01)

C 0 7 C 15/08 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 1 B 39/46

B 0 1 J 29/74 Z

C 0 7 C 5/27

C 0 7 C 15/08

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月28日(2008.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ケイ素およびゲルマニウムから選択される少なくとも 1 つの元素 X と、アルミニウム、鉄、ガリウム、ホウ素、チタン、バナジウム、ジルコニウム、モリブデン、ヒ素、アンチモン、クロムおよびマンガンから選択される少なくとも 1 つの元素 T とを含む E U O 構造型ゼオライトにおいて、 $5 \sim 50$  の X / T 比と  $0.010 \sim 0.065$  の N / X 比とを有することを特徴とするゼオライト。

【請求項 2】  $6 \sim 35$  の X / T 比を有する、請求項 1 記載のゼオライト。

【請求項 3】  $7 \sim 30$  の X / T 比を有する、請求項 1 または 2 記載のゼオライト。

【請求項 4】  $7 \sim 26$  の X / T 比を有する、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載のゼオライト。

【請求項 5】  $0.015 \sim 0.055$  の N / X 比を有する、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項記載のゼオライト。

【請求項 6】  $0.020 \sim 0.045$  の N / X 比を有する、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項記載のゼオライト。

【請求項 7】 結晶内細孔内にジベンジルジメチルアンモニウムカチオンを含有する、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項記載のゼオライト。

【請求項 8】 元素 X がケイ素であり、かつ元素 T がアルミニウムである、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項記載のゼオライト。

【請求項 9】 請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項記載のゼオライトの焼成により得られるゼオライト。

【請求項 10】 あらゆる構造型のゼオライトの合成のための核としての、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項記載の E U O 構造型ゼオライトの使用 方法。

【請求項 11】 請求項 9 記載の E U O 構造型ゼオライトを含む触媒。

【請求項 1 2】 少なくとも 1 つの結合剤と、少なくとも 1 つの第VIII族金属とを含む、請求項 1 1 記載の触媒。

【請求項 1 3】 ゼオライトが少なくとも部分的に酸の形態である、請求項 1 1 または 1 2 記載の触媒。

【請求項 1 4】 第IB、IIB、IIIA、IVA、VIBおよびVIIB族の元素から成る群から選択される少なくとも 1 つの金属を含む、請求項 1 1 ~ 1 3 のいずれか 1 項記載の触媒。

【請求項 1 5】 硫黄を含む、請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項記載の触媒。

【請求項 1 6】 炭化水素仕込原料を、請求項 1 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項記載の触媒と接触させることを含む、炭化水素の転換方法。

【請求項 1 7】 炭化水素の転換の型が、炭素原子 8 個の芳香族留分の異性化である、請求項 1 6 記載の方法。